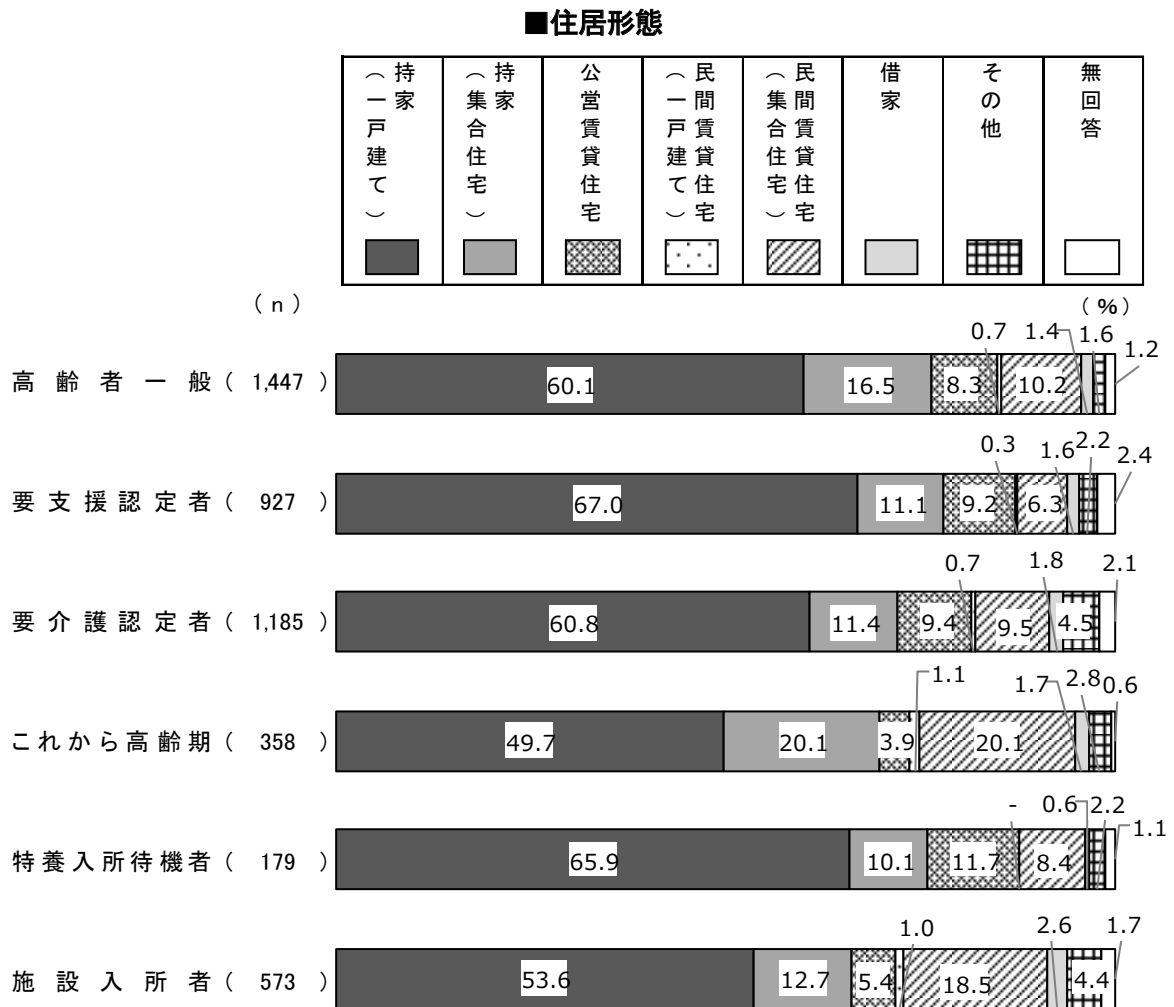


2 住まい

(1) 住居形態

- いずれの調査でも、「持家(一戸建て)」が最も高く、高齢者一般で60.1%、要支援認定者で67.0%、要介護認定者で60.8%、これから高齢期で49.7%、特養入所待機者で65.9%となっている。
- 施設入所者では、入所前の住居として「持家(一戸建て)」が53.6%となっている。
- これから高齢期では、「持家(集合住宅)」と「民間賃貸住宅(集合住宅)」がそれぞれ約2割となっている。



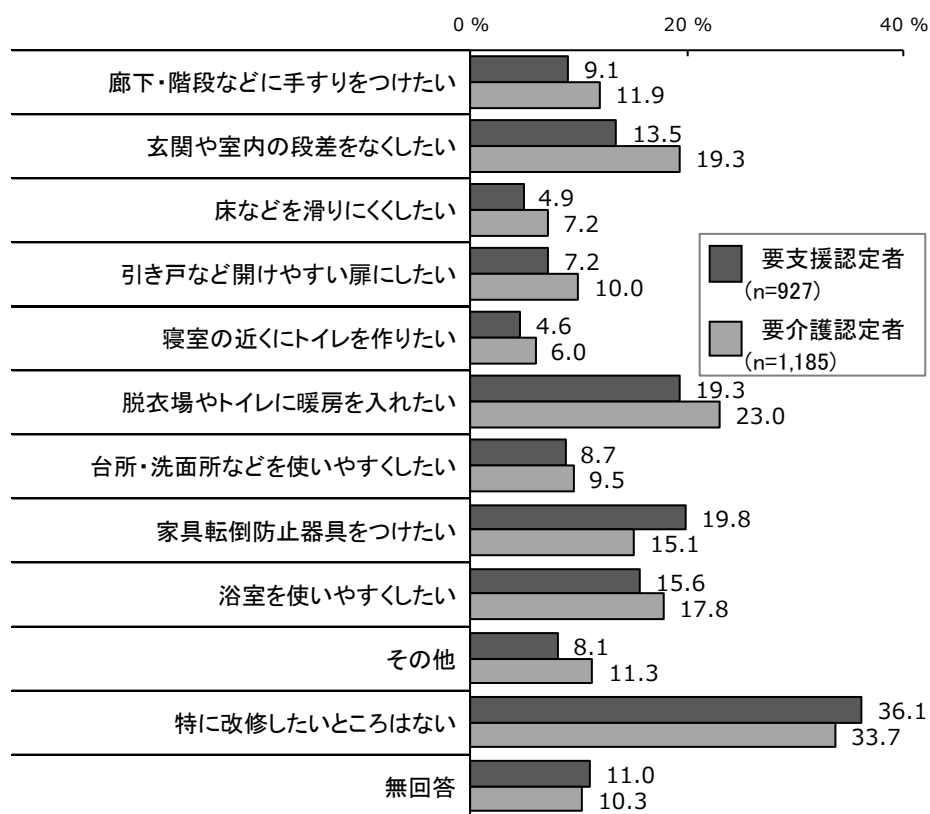
※ 特養入所待機者は、現在の生活場所が「自宅」の人に聞いた

※ 施設入所者は、施設入所前の住居形態について聞いた

(2) 住まいで改修したいところ

- 「特に改修したいところはない」は、要支援認定者で 36.1%、要介護認定者で 33.7%となっている。
- 改修したいところとして、要支援認定者では「家具転倒防止器具をつけたい」(19.8%)、「脱衣場やトイレに暖房を入れたい」(19.3%)が上位に挙がっている。要介護認定者では、「脱衣場やトイレに暖房を入れたい」(23.0%)、「玄関や室内の段差をなくしたい」(19.3%)、「浴室を使いやすいしたい」(17.8%)が上位に挙がっている。

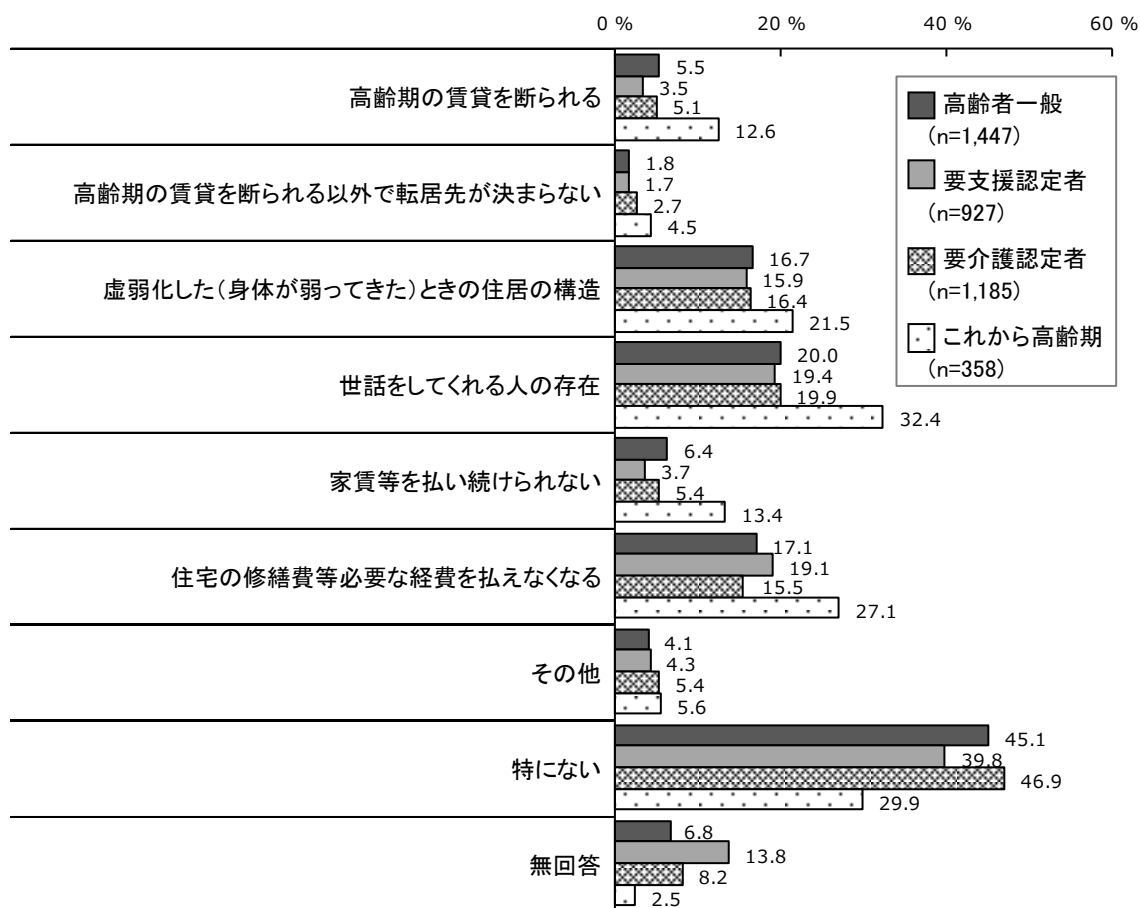
■住まいで改修したいところ（複数回答）



(3) 将来の住まいに関する不安

- 高齢者一般では、「特にない」が45.1%となっている。住まいに関する不安としては、「世話をしてくれる人の存在」(20.0%)、「住宅の修繕費等必要な経費を払えなくなる」(17.1%)、「虚弱化した(身体が弱ってきた)ときの住居の構造」(16.7%)が上位に挙がっている。
- 要支援認定者では、「特にない」が39.8%となっている。不安としては、「世話をしてくれる人の存在」(19.4%)、「住宅の修繕費等必要な経費を払えなくなる」(19.1%)、「虚弱化した(身体が弱ってきた)ときの住居の構造」(15.9%)と続いている。
- 要介護認定者では、「特にない」が46.9%となっている。不安としては、「世話をしてくれる人の存在」(19.9%)、「虚弱化した(身体が弱ってきた)ときの住居の構造」(16.4%)、「住宅の修繕費等必要な経費を払えなくなる」(15.5%)と続いている。
- これから高齢期では、「特にない」が29.9%となっている。不安としては、「世話をしてくれる人の存在」(32.4%)、「住宅の修繕費等必要な経費を払えなくなる」(27.1%)、「虚弱化した(身体が弱ってきた)ときの住居の構造」(21.5%)と続いている。

■将来の住まいに関する不安(複数回答)

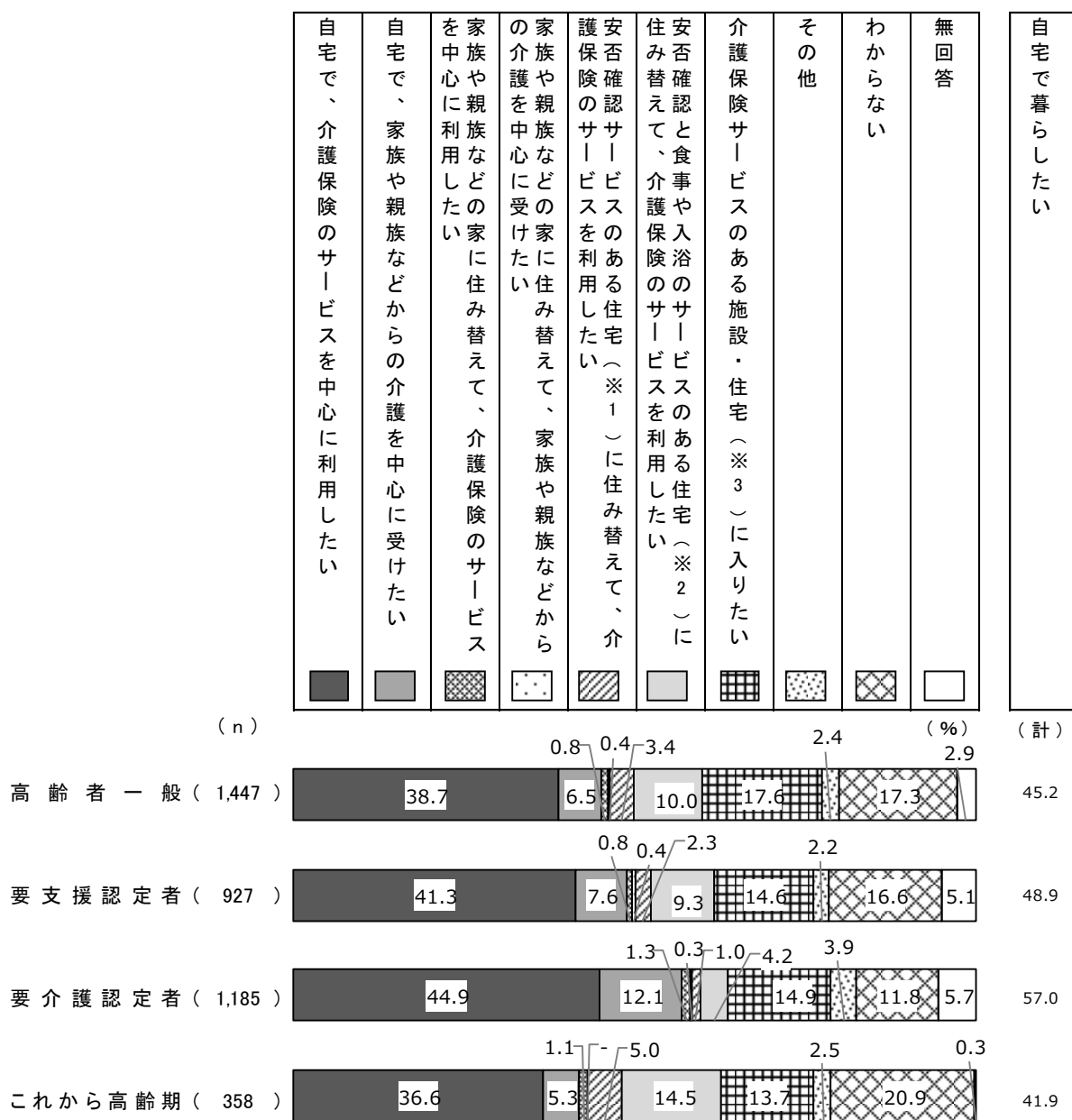


(4) ケア付き住まい

① 介護が必要になった場合に希望する暮らし方

- いずれの調査においても、「自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい」が最も高く、3割半ばから4割半ばとなっている。
- “自宅で暮らしたい”（「自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい」と「自宅で、家族や親族などからの介護を中心に受けたい」の合計）は、高齢者一般で45.2%、要支援認定者で48.9%、要介護認定者で57.0%、これから高齢期で41.9%となっている。
- これから高齢期では、「安否確認と食事や入浴のサービスのある住宅（サービス付き高齢者向け住宅、都市型軽費老人ホーム、住宅型有料老人ホーム）に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい」が14.5%、「介護保険サービスのある施設・住宅（特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、認知症対応型グループホーム）に入りたい」が13.7%となっている。

■介護が必要になった場合に希望する暮らし方



※1 シルバーピア

※2 サービス付き高齢者向け住宅、都市型軽費老人ホーム、住宅型有料老人ホーム

※3 特別養護老人ホーム、介護付き有料老人ホーム、認知症対応型グループホーム

【高齢者一般】

○住まい形態別にみると、『持家』と回答した人は、“自宅で暮らしたい”が約5割で、『持家』以外と回答した人と比べて高い。

■介護が必要になった場合に希望する暮らし方<高齢者一般：住まい形態別>

	n	(%)(計)										
		自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい	自宅で、家族や親族などからの介護を中心に受けたい	家族や親族などの家に住み替えて、介護保険のサービスを中心に利用したい	家族や親族などからの介護を中心に受けたい	介護保険のサービスのある住宅に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい	安否確認サービスの利用したい	住宅に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい	安否確認と食事や入浴のサービスのある住宅に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい	介護保険サービスの施設・住宅に入りたい	その他	わからない
高齢者一般	1,447	38.7	6.5	0.8	0.4	3.4	10.0	17.6	2.4	17.3	2.9	45.2
持家	1,108	42.1	7.8	0.5	0.4	2.3	9.7	18.9	2.0	15.0	1.4	49.8
賃貸住宅等	298	29.9	2.3	2.3	0.7	7.4	10.7	13.8	3.0	26.5	3.4	32.2
その他	23	17.4	4.3	-	-	4.3	17.4	17.4	17.4	17.4	4.3	21.7

○世帯構成別にみると、『1人暮らし』と回答した人は、“自宅で暮らしたい”が3割半ばで、『1人暮らし』以外の世帯構成と回答した人と比べて低い。

■介護が必要になった場合に希望する暮らし方<高齢者一般：世帯構成別>

	n	(%)(計)										
		自宅で、介護保険のサービスを中心に利用したい	自宅で、家族や親族などからの介護を中心に受けたい	家族や親族などの家に住み替えて、介護保険のサービスを中心に利用したい	家族や親族などからの介護を中心に受けたい	介護保険のサービスのある住宅に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい	安否確認サービスの利用したい	住宅に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい	安否確認と食事や入浴のサービスのある住宅に住み替えて、介護保険のサービスを利用したい	介護保険サービスの施設・住宅に入りたい	その他	わからない
高齢者一般	1,447	38.7	6.5	0.8	0.4	3.4	10.0	17.6	2.4	17.3	2.9	45.2
1人暮らし	445	34.2	2.0	1.1	1.1	6.3	12.4	17.1	3.4	19.3	3.1	36.2
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	397	42.1	8.6	0.5	-	2.3	9.6	18.6	1.5	14.6	2.3	50.6
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	74	45.9	9.5	1.4	-	-	5.4	21.6	-	16.2	-	55.4
子との2世帯	248	40.3	9.3	0.4	0.4	1.6	6.9	19.8	2.4	15.7	3.2	49.6
その他	210	36.2	8.1	1.0	-	2.4	10.0	15.7	2.9	21.0	2.9	44.3

② 高齢者向け住宅・施設の認知度

○高齢者向け住宅・施設の認知度は、要支援認定者では「有料老人ホーム」が70.4%で最も高く、「特別養護老人ホーム」(58.3%)、「サービス付き高齢者向け住宅」(32.3%)、「介護老人保健施設」(25.5%)、「認知症対応型グループホーム」(15.4%)、「都市型軽費老人ホーム」(13.8%)と続いている。

○要介護認定者では、「有料老人ホーム」が73.4%で最も高く、「特別養護老人ホーム」(64.7%)、「介護老人保健施設」(33.8%)、「サービス付き高齢者向け住宅」(32.6%)、「認知症対応型グループホーム」(20.1%)、「都市型軽費老人ホーム」(10.8%)と続いている。

■高齢者向け住宅・施設の認知度（複数回答）

